



あかしや

～豊かなくらしを自ら創り出す子どもの育成～

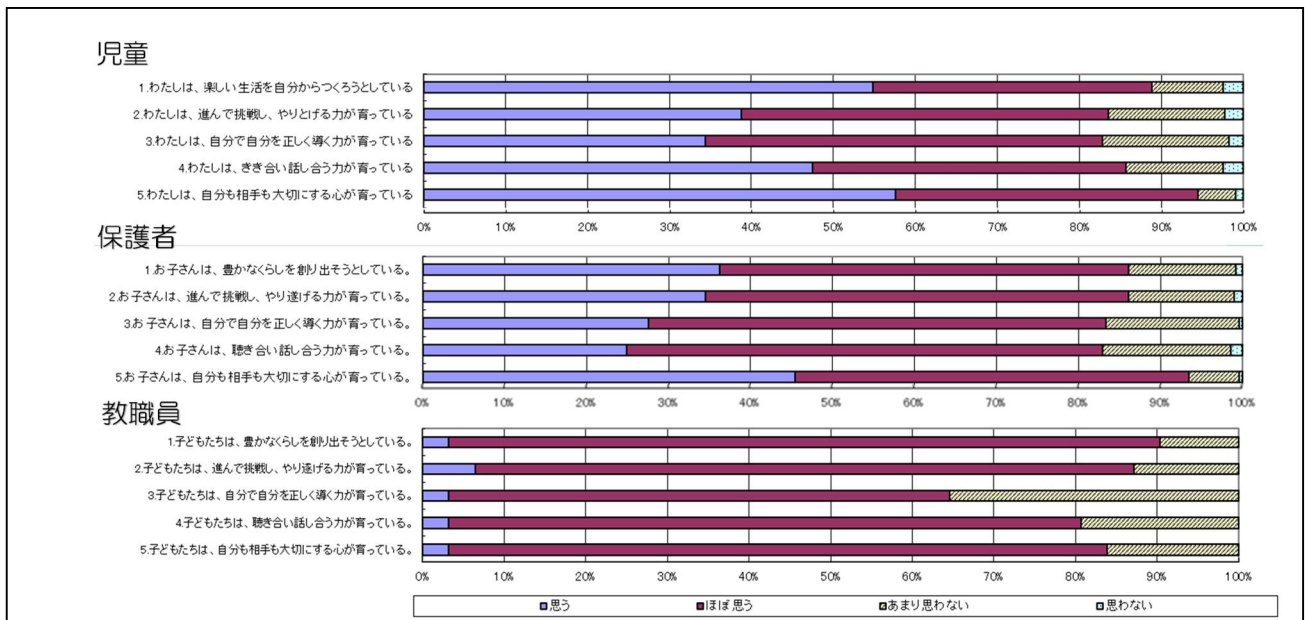
山形市立第九小学校
令和4年12月9日 No.11
発行：校長 大沼清司
山形市馬見ヶ崎 2-5-1

「本校教育に関するアンケート」より

10月にお願いしました「本校教育に関するアンケート」へのご協力、ありがとうございました。アンケートの結果について、考察と手立てを加えてお知らせいたします。

1. 今年度の重点目標について

今年度の重点目標「豊かなくらしを自ら創り出す子どもの育成」をめざして、4つの資質・能力の育成に力を入れて取り組んでいます。



「向上心：進んで挑戦し、やりとげる力」

運動会や記録会などの体育的行事、合唱や合奏等の音楽活動、総合や生活科の探究的学習、そして日々の授業や家庭学習で、より高い目標に向かって挑戦する姿がたくさん見られました。やりとげた達成感を味わうことで、さらに意欲が高まります。アンケートの回答からも、多くの子ども達が様々なことに挑戦し、最後までやりとげた経験を味わうことができたようです。今後も、挑戦しようとする意欲や勇気を大切にして、子ども達を励ましていきたいと考えています。

「自己指導力：自分で自分を正しく導く力」

児童会を中心に生活目標を考えたり、学級活動や学年集会で学校生活を振り返ったりしながら、自分達のくらしを自分達で振り返り、改善することを大切にしてきました。また、登下校時の歩き方や帰宅後の遊び方、メディアやゲームの使い方等、大人が見ていない場面でも自分で正しい行動ができる子どもに育ててほしいと願っています。4つの資質・能力の中で、児童・教職員の評価が一番低い項目でしたが、学校生活の様々な機会をとらえて、自ら正しい行動をとることの大切さに気付かせていきます。

「伝え合う力：聴き合い話し合う力」

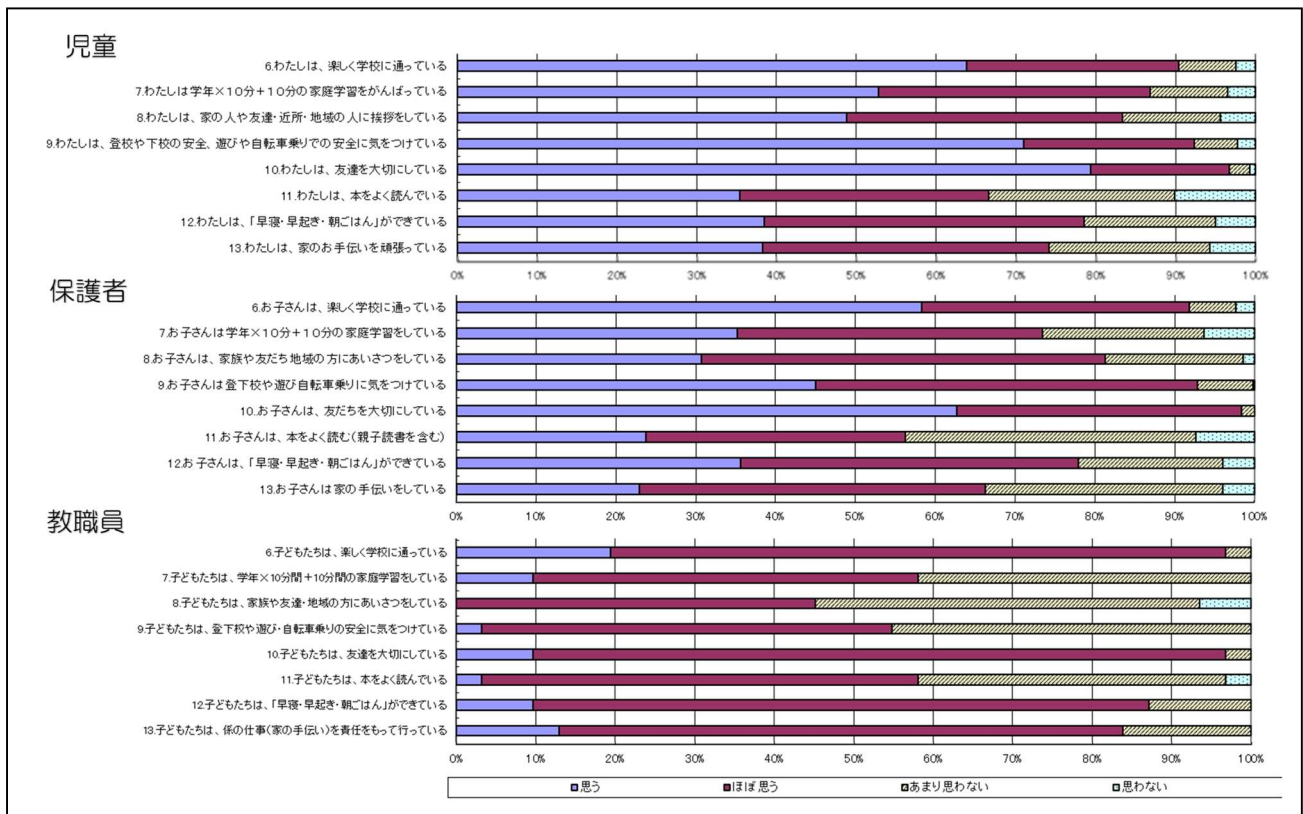
授業では、お互いの話をしっかり聴き合ったり、自分の考えをわかりやすく伝えたりする「学び合い」を大切にしています。また、答えを求めるだけでなく、なぜそう考えたのか理由や根拠を伝えることも大切にして学習を進めています。総合や生活科でも、グループで相談したり、アイデアを出し合ったり、発表の仕方を工夫したりしながら学習を進めています。

「思いやり：自分も相手も大切に作る心」

4つの資質・能力の中で、児童・保護者の評価が一番高かった項目です。フレンド班活動や「花さき山プロジェクト」の取組を通して、相手を大切にすることをより意識するようになってきました。2学期からは、フレンド班清掃も始まり、上学年が下学年の面倒を見ながら、協力して掃除に取り組んでいます。今後も、子ども同士の関わりを大切に、様々な活動を通して思いやりの心があふれる学校づくりを目指していきます。

子ども達が、重点目標に向かって頑張っている姿は、学校のホームページの「お知らせ一覧」からもご覧いただけます。それぞれの学年でどのような学習や活動に取り組んでいるのか、それが4つの資質・能力のどれに結び付いているのか、ぜひご覧ください。

2. 児童について



楽しく学校に通っている

楽しく学校に通っていると「思う」「ほぼ思う」と回答した児童は約90%で昨年度より少し増えました。「そう思わない」と回答した児童は2.3%で昨年度より少なくなりました。今後も、全ての児童が「学校が楽しい」と思えるよう、職員一丸となって努力して参ります。もし、お子様が学校のことや友達関係で悩んでいる様子が見られましたら、すぐにご相談ください。

家庭学習（学年×10分+10分）

家庭学習については、85%以上の児童が頑張っていると回答しています。漢字や計算の学習に毎日丁寧に取り組む子、興味のあることを進んで調べる子、学習内容を工夫して楽しみながら学習している子等、毎日根気強く取り組む子が増えています。向上心をもって自分から家庭学習に取り組み、進んで努力を続ける子どもに育ててほしいと思います。

一方で「そう思わない」「あまり思わない」という回答は保護者で約25%、教職員で約40%ありました。配付した「家庭学習の手引き」（HPにも掲載）等も活用して、家庭学習の習慣が身につくよう、ご家庭でも声掛けをよろしくお願いします。

あいさつ

明るく元気なあいさつができるよう、年間を通して力を入れて取り組んでいます。児童・教職員の評価は昨年度より5%ほど低くなっています。交通指導員さんからは、「こちらからあいさつしても、返さない子もいる。」という声もありました。今年度は、児童会の生活目標に設定したり、PTAで「あいさつコンクール」を実施したりしながら全校体制で取り組んでいます。今後もご家庭や地域の皆様からご協力をいただきながら、あいさつ運動に取り組んでいきます。ぜひご家庭でも明るいあいさつから1日が始まるよう、ご協力をよろしくお願いします。

登下校、遊びや自転車乗りの安全

児童の自己評価は昨年度よりやや低くなり、安全に気を付けていると「思わない」と回答した児童も2.3%いました。登下校の様子を見ても、横断するときの一時停止や手を挙げて安全確認すること等、なかなか徹底されません。また、歩道を歩くときに複数人が横に広がって歩くため他の人の通行の妨げになっている、という地域の方からの指摘もありました。今後も、学校・家庭・地域で連携して子ども達の安全を見守り、「グッドウオーカー」となれるよう指導していきます。

読書

本をよく読んでいると「思う」「だいたい思う」と回答した児童は昨年度より10%少なくなり、66.6%でした。約1/3の児童はあまり本を読んでいると感じていません。保護者も、昨年度より読書量が少なくなったと感じているようです。

PTAの皆様からご協力をいただき、朝の「読み聞かせ」や「親子読書」にも取り組んでいます。読書量が減っているのは残念です。ゲームやテレビ、動画視聴等の時間にも影響されているのだと思いますが、ぜひじっくり本に親しむ時間を大切にしてほしいと考えています。

「早寝・早起き・朝ごはん」

学年が上がるにつれ、早寝・早起きができていないと感じている児童が多くなっています。高学年ほど家に帰った後もすることが多く忙しさもあるのですが、ゲームや動画視聴等で寝るのが遅くなってしまいう児童も多いようです。睡眠時間の確保と規則正しい生活ができるよう、ご家庭でもお声掛けください。

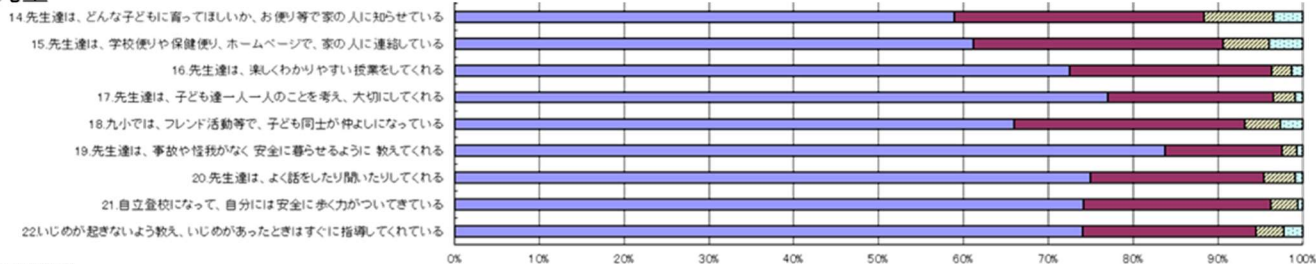
3. 学校について

保護者への連絡や情報提供

児童・保護者とも、よい評価は昨年度より5%ほど少なくなっています。学校だよりや学年だより等を通して学校での子ども達の学習や活動の様子を少しでもお伝えできるよう努めてまいります。

また、引き続き学校のホームページ「お知らせ一覧」でも学校の様子をお知らせしていきたいと考えています。

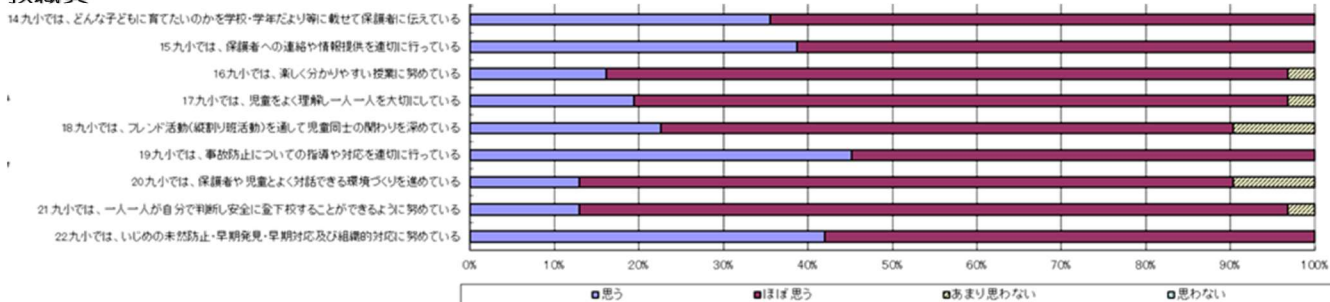
児童



保護者



教職員



楽しくわかりやすい授業

授業が楽しくわかりやすいと「思う」「ほぼ思う」と回答した児童は、昨年度より約3%増えて、96.4%でした。今後も、全ての児童が学ぶ楽しさやわかる喜びを感じることができるよう、日々の授業づくりに努めて参ります。また、子ども同士が互いの考えを出し合い学び合う学習を通して、自ら学びに向かう主体性も育てていきたいと考えています。

児童どうしのかかわり

昨年度は十分に行うことができなかった「フレンドタイム」を今年は定期的実施しているため、児童同士の関わりを深めていると「思う」と回答した児童が大幅に増加しました。ご家庭からもお弁当のご協力をいただき、木曜日のロング昼休みに時間を確保して活動しています。様々な活動や遊びを通して異学年での交流を深め、相手を思いやる心も育てています。

今年度は清掃もフレンド班で行っています。高学年が低学年のお手本になり、掃除の仕方を教えたり、上手にできたところを褒めたりしながらリードしています。

いじめの未然防止・早期発見・早期対応

児童・保護者・教職員とも、「そう思う」という回答が昨年度より増えています。子ども同士のけんかやトラブルなども時々ありますが、子ども同士の関わり方や言動を常に見守りながら未然防止に努めるとともに、いじめやいじめにつながる行為があった場合は、すぐに対応するよう努めて参ります。

ご家庭でも、お子様の様子で気になることや心配なことがある場合は、すぐに学校にお知らせください。